

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR208A	TCR_通訳演習 III_A	
科目名（コード）	TCR208	TCR_通訳演習 III_A	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	4単位60
授業担当者	伊東かつみ	時間数	
成績評価教員	伊東かつみ	講義期間	秋期
実務者教員	はい	履修区分	選択必修
実務者教員特記欄	本授業は、実務経験者による授業科目である。		講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるように、複雑な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。
全体の内容と概要	就活やビジネスで使用する語彙を理解し、頻出漢字を書けるようになる。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	配布したプリントは各自ファイルしておくこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

	回	到達目標	授業内容
4.15	1	敬語とは何か、よく使う敬語	毎回のルーチン 一言、敬語の理解、美化語、
4.22	2	敬語の変換原則の理解 I	尊敬語の変換練習
5.1	3	休み	
5.13	4	謙譲語の変換を学ぶ	尊敬語の復習クイズ、謙譲語の変換練習、やりもらい
5.20	5	「訪問」のときの表現がわかる	「敬語トレーニング」1課
5.27	6	「依頼」の会話ができる失礼にならない「断る」表現を学ぶ	「敬語トレーニング」4課、5課
6.30	7	「反省」お詫び	「敬語トレーニング」7課、助詞の間違い解説、を の使いかた
6.10	8	「申し出」や「提案」の表現を学ぶ	「敬語トレーニング」6課、は とがの使い分け
6.19	9	「反省」の気持ちを上手に伝えることができる	「敬語トレーニング」7課
6.26	10	自分の意見を言う場合の話し方	「敬語トレーニング」8課、是非、一定、同義語の間違い練習
7.10	11	尊敬語、謙譲語を使いこなせることができる	「敬語トレーニング」9課、JLPT模試聞き取りと読解の練習 I
7.80	12	失礼な間違い	失礼な間違いの解説ppt、JLPT模試聞き取り敬語編、敬語まとめ
7.15	13	課題	課題；顧客との会話選択肢①顧客に説明する（使用方法、会議、活動の説明等） ③断りに対する対応；（原則に基づいて、顧客の要求に応じられないなど）
7.22	14	期末試験	学期試験
7.29	15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	新・にほんご敬語トレーニング
参考文献・資料等	適宜配布（進度は変更になることがあります。 月曜日 1 限）
備考	・本教員は関連する機関において、実務経験を積み、その経験を活かして、学校等の高等教育機関にて指導を展開している。